



## DIPI シリーズ

DIPI-101-A / DIPI-102-A / DIPI-103-A / DIPI-104-A

# 施工説明書



## も く じ

安全にお使いいただくために	2
製品概要／主要寸法	4
取付方法	5
電気工事／試運転	6
発生素子の交換方法	7

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

**特に「安全にお使いいただくために」は、施工前に必ずお読みください。**

施工説明書に記載されてない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは当社では責任を負えません。またその施工で原因で故障が生じた場合、製品保証の対象外です。

この施工説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

# 安全にお使いいただくために

## 安全にお使いいただくために

この施工説明書には、製品を安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、重要な注意事項を記載しています。

表示内容を無視して誤った取扱いをすることによって生じる危害や損害の程度を、次のように区分しています。

内容をよく理解してから本文をお読みいただき、注意事項をお守りください。



### 警告

取扱いを誤った場合に、人が死亡または重症を負うおそれがある内容を示しています。



### 注意

取扱いを誤った場合に、人が軽症を負うか物的損害のみが発生するおそれがある内容を示しています。



このような図記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



## 警告



- 本製品の据付施工はお買い上げの販売店または専門の工事店に依頼してください。

工事内容に不備があると火災・感電・ショートの原因になります。

- 据付施工はこの施工説明書に従って正しく確実に行ってください。

施工が正しく行われなことで発生する事故や故障には責任を負いません。

- 浴室など湿気の多い場所には据付を行わないでください。

感電、漏電、火災の原因になります。

- 落としたり、衝撃を与えたりしない

万一、落としたり破損した場合は、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 本製品の据付施工は本製品の重量に十分に耐える場所に施工説明書に従って正しく確実に行ってください。

強度不足や据付不完全により、落下、感電、漏電、火災の恐れがあります。

- AC100V以外の電源は絶対に使用しないでください。

表示された電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

- コンセント工事は電気設備技術基準や内戦規定に従って正しく確実に行ってください。

火災・過熱の原因になります。



- 水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置いたりしない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因になります。



- 分解・改造しない

感電、漏電、火災の原因になります。内部の点検・修理は、販売店にご依頼ください。



- 通電中は製品内部に手を入れないでください。

感電の恐れがあります。



- ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電や、発熱による火災の原因になります。



- 煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常がある場合は、本体の主電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。

- ACアダプターの電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない

発熱し、火災・感電の原因になります。

- ACアダプターの電源コードだけをコンセントに差し込んだままにしない

火災・感電の原因になります。



## 注意



- 本体取り付けの下方の天井板に口600 mm以上の点検口を設けてください。  
装置点検、および発生素子交換作業のために必要ですので必ず設置してください。
- 塩害が発生する恐れがある場所では使用できません。  
腐食の発生によって異音が発生したり、破損が起きる原因となります。
- ダクト材質は断熱性のある材質を使用してください。  
断熱が不十分場合、結露の発生や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因になることがあります。
- 電源ボックスカバーは操作後は必ず閉めてください。  
漏電、火災の原因になることがあります。
- 専用ブレーカーを取り付けてください。  
据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付が必要です。
- 高温となる場所や、直接炎が当たる場所、油煙の多い場所には取り付けないでください。  
故障、発煙、火災の原因になることがあります。
- 本製品の取付場所は、必ず断熱層、気密層の内側としてください。



- お手入れのときは、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になることがあります。
- 使用時以外は、ACアダプターをコンセントから抜く  
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



- コンセントへの差込みがぐらついたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する  
火災・感電の原因になることがあります。
- 点検等で取り外す際は、主電源スイッチを切り、必ずACアダプターの電源プラグを抜く  
電源をいれたままだと火災・感電の原因になることがあります。



- 施工の際、本製品を落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。  
破損や故障により感電、機能低下の原因になることがあります。

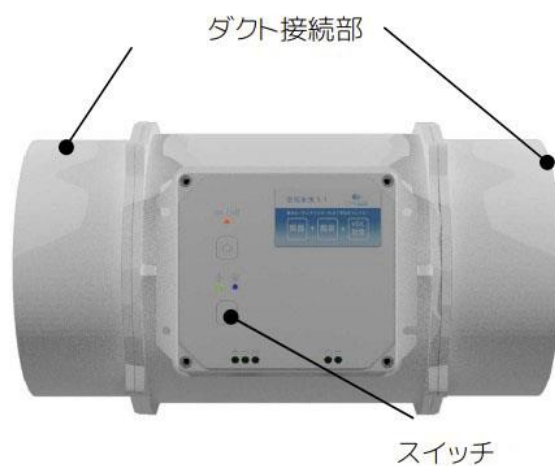
下記の条件以外では使用できません。本製品に結露水が付着して、滴下することがあります。

外気温:  $-15^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$

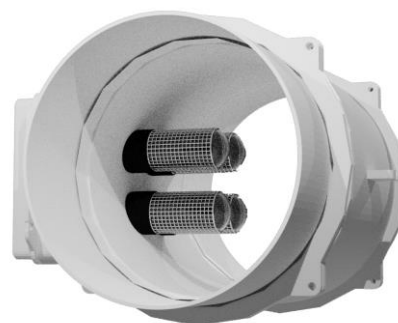
本体周囲温度湿度:  $0^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$ 、RH80%以下、かつ  $-15^{\circ}\text{C}$  の外気温度条件では  
露天温度  $12^{\circ}\text{C}$  ( $20^{\circ}\text{C}$ 、RH60%相当)となる絶対湿度以下

※  $-15^{\circ}\text{C}$  以下の状態が6時間以上連続する環境で使用すると、結氷や結露が生じることで内部部品の破損、故障の原因になることがあります。

# 製品概要／主要寸法



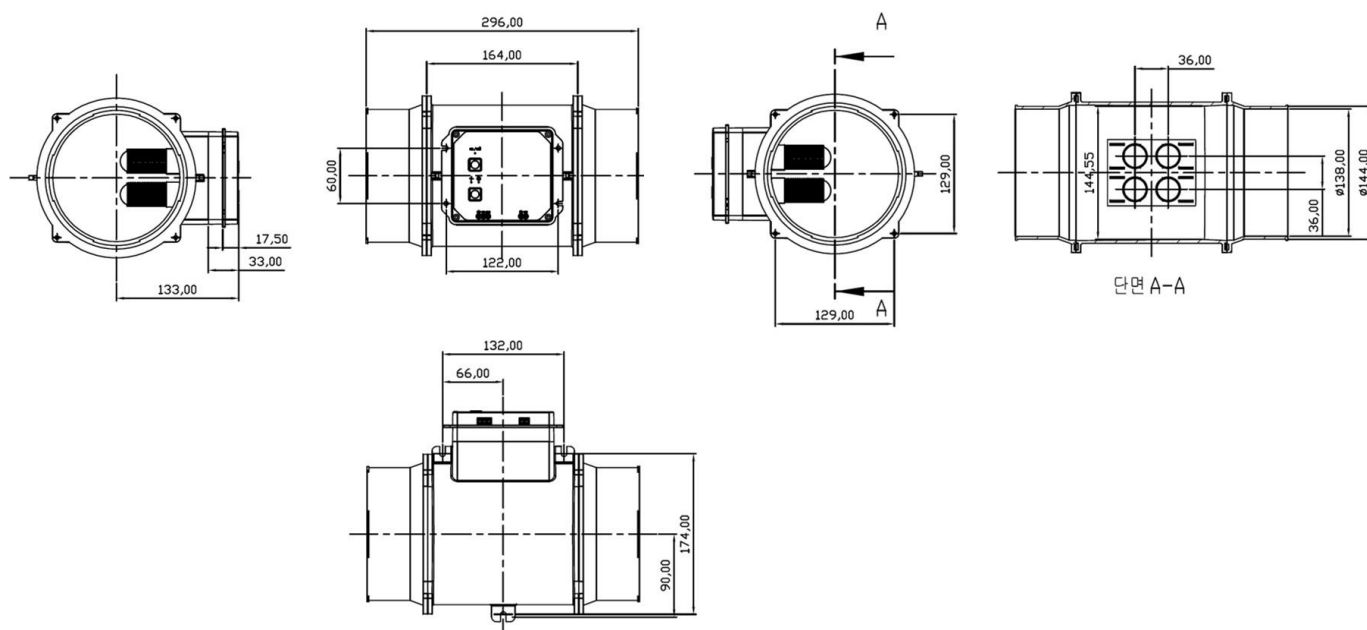
装置正面



装置側面

接続部に出口入口の区別はありません。空気の流れ方向はどちらでも可能です。

## 製品外寸



# 取付方法

## 本製品の取付方法

### (1) 天吊り取付の場合

枠から市販のボルトナット類を利用して吊りボルトを構成してください。

装置正面のスイッチ部の横 2 か所と背面 1 か所に固定用フランジを取り付け、ボルト穴に吊りボルトを通し、市販のナット・ワッシャーで確実に固定してください。

### (2) 壁等への取付の場合

装置正面からみて奥の上下 4 か所に固定用フランジを取り付け、ボルト穴を利用して、壁面等に確実に固定してください。

#### <ご注意>

本体の取付方法は、電気ボックスが真横に来るように水平に取り付けてください。

接続部に出口入口の区別はありません。空気の流れ方向はどちらでも可能です。

電源スイッチが操作できる位置に設置してください。

## 断熱ダクトの接続方法

・本体の接続カラーの外寸は 150mmΦ、カラーの幅は 30mm です。

※150mmΦ 以外のダクトを接続する場合は市販の異形アダプターにて対応ください。

・断熱ダクトを本体の接続部に確実に差し込み、市販のダクトテープまたは固定バンドで確実に接続してください。

・ダクトの接続によって本体に無理な力がかからないように、ダクトの支持を行ってください。

・寒冷地でご使用の場合は結露対策を十分に行ってください。

(1)ダクト接続後は断熱テープを巻いてください。

(2)ダクトは断熱性能の高い、グラスウールタイプを選んでください。

## 本製品への電源供給と稼働確認

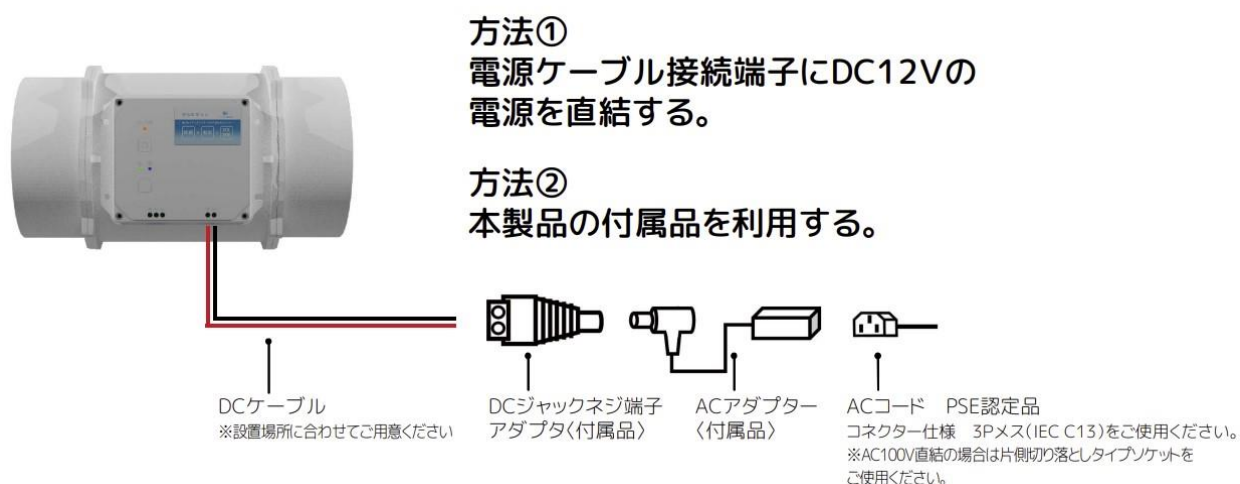
- ・換気システムの電源を OFF にしてください。
- ・本体設置とダクト接続が完了していることを確認してください。
- ・本体に DC12V の電源接続を行ってください。
- ・換気システムの電源を ON にします。
- ・電源の ON にします。
- ・電源ランプ及び運転モード切換ボタンのランプの点灯状況を確認する。

## 電源接続

### 接続方法

方法①: 電源ケーブル接続端子に DC12V の電源を直結する。

方法②: 下図のように本製品付属品を利用して接続する。



- ・DCケーブル 製品本体までの長さに合わせてご用意ください。
- ・DCジャックネジ端子アダプター <付属品> DCケーブルとACアダプターを接続します。
- ・ACアダプター <付属品> ※電源コードは付属していません。
- ・ACコード PSE認定品 コネクター仕様 3Pメス(IEC C13)をご用意ください。  
※AC100V直結の場合は片側切り落としタイプソケットをご使用ください。

# 発生素子の交換方法

## スイッチ操作ボックスの取り外し方法

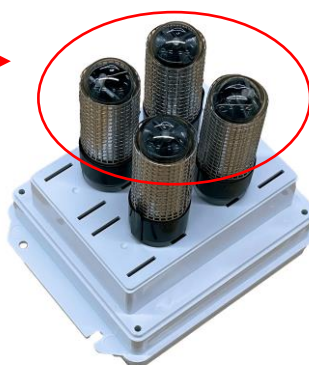


※作業を始める前に DC ケーブルは取り外してください。  
スイッチ操作ボックスの四隅の蝶ネジを取り外します。

## 発生素子 付け方・はずし方

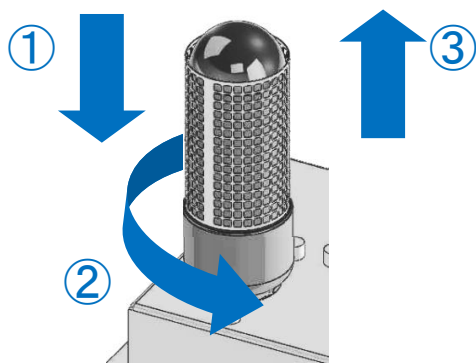
### <ご注意>

発生素子上部の金属部には直接触らないでください。  
性能劣化や破損の原因になります。



### はずし方

- ① 発生素子の下部(黒い樹脂部分)を持ち、押し下げる。
- ② 左周り(反時計回り)に 90 度回転させ位置の固定を解除する。
- ③ 発生素子をゆっくりと上部に持ち上げます。



### 付け方

- ① 発生素子の下部(黒い樹脂部分)を持ち、ソケットの穴にある溝と発生素子の突起を合わせて差し込みます。
- ② 右周り(時計回り)に 90 度回転させ位置を固定します。  
※位置の固定後、がたつきがないか確認ください。

